



さとやま通信

sa to ya ma つうしん

<Vol.85>

～「学研木津北地区」とは鹿背山の里山のこと

里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

第8回「チリ山農業体験」(3回シリーズ)

家族で昔ながらの米作りと収穫を楽しめる「チリ山農業体験」をしませんか。手植えでの田植え、鎌を使った稻刈り、杵と石臼による餅つきが楽しめます。

内・時

- ①田植え 6月13日(土) 午前10時～午後3時
- ②稻刈り 10月25日(日) 午前10時～午後3時
- ③餅つき 12月19日(土) 午前10時～午後1時

所鹿背山中切 ※参加者には地図を送付します。

対小学生以上の子どもがおり、3回通して参加できる家族

定約20人[先着]

※過去に参加経験のある家族は受付人数の都合上、参加をお断りする場合があります。

￥3,000円／家族

(3回分、ボランティア傷害保険代などを含む)

※①②は別途昼食代が必要です。

(大人 500円、小人 200円)

※③は別途お土産のお餅代が必要です。(500円／家族)

申5月14日までに、代表者(保護者)の住所・氏名・電話番号、参加者全員の氏名・年齢・続柄をメールで鹿背山俱楽部へ。

他・参加の可否は後日代表者に連絡します。

・各回お土産付き(畑作の様子次第)



鹿背山俱楽部 会員募集

里山林の再生を目指して異常繁殖した竹の伐採、雑木や果樹の植栽や下草刈り、古代米の栽培、季節の野菜づくり、シイタケ栽培、自然観察のモニタリングなどを毎週土曜日におこなっています。初めての方や1日体験も歓迎します。

鹿背山俱楽部 広報担当 kaseyamaclub@gmail.com

5月22日は「国際生物多様性の日」

国連は生物の国際条約「生物多様性条約」が採択された5月22日を「国際生物多様性の日」と定めました。生物多様性とは、様々な環境の中で多種多様な生き物がつながり影響しあって、個性豊かに生命を育んでいることを意味します。

私たちの暮らしは、生き物の恵みに支えられています。その恵みを受け続けられるように、一人ひとりができることがあります。

例

- ・地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
- ・自然の中へ出かけ、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。
- ・自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。
- ・生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。
- ・エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

里山へGO！(里山活動に参加してみよう)

鹿背山で活動する団体の里山活動を体験してみたい方は、気軽に都市計画課に連絡ください。

都市計画課 ☎75-1222